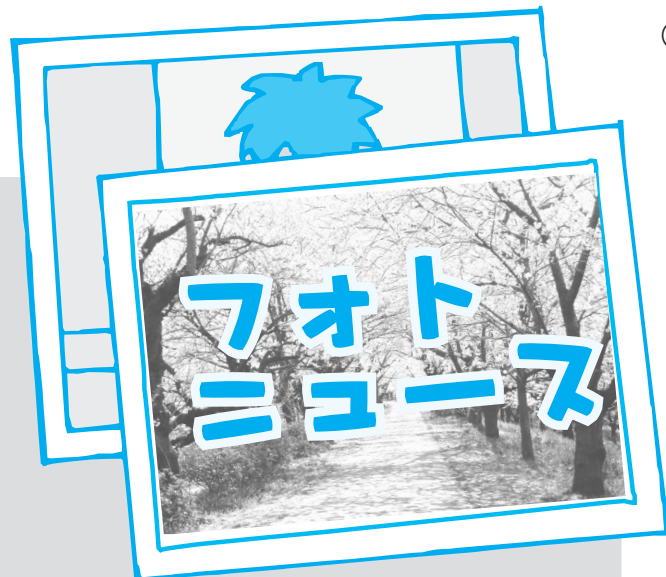




第17回あじさい祭り

県営権現堂公園幸手桜堤で7月2日(日)まで開催しているあじさいまつりでは、100種16,000株のあじさいが堤を彩っています。

6月17日(土)には、幸手桜高等学校演劇部の生徒による「ちんどんパフォーマンス」が行われ、集まったたくさんの観客を楽しませていました。

江戸川クリーン大作戦

5月28日(日)江戸川河川敷で、クリーン大作戦を実施しました。

地域のみなさんのご協力の下、たくさんのごみが回収され、河川敷はあっという間にきれいになりました。



幸手市文化団体連合会発表会

6月11日(日)北公民館で、幸手市文化団体連合会による発表会が開催されました。会場では民謡、舞踊、和太鼓、フォークダンスなど、さまざまな発表が行われ、観客を楽しませていました。

若草俳句会

「花時・蝶」
はなとき ちよう

花時の

移りて北へゆく屋台

大熊三郎・北三

花時の

特急とまる過疎の駅

岩崎愛子・西一

老農の

畑打つ影やさくらどき

石塚精二・上宇和田

牛の背に

蝶来て憩ふ真昼どき

柿沼杏・中五

花時の

埋葬雨となりにつけり

吉羽安子・外国府間

蝶が舞ふ

郵便受けのドーム型

中山雅友・東四

花のころ

はなはだしきは物忘れ

進藤洋二郎・緑台一





「第一志望のサクラ咲く」 幸手桜高校へ

県立幸手桜高等学校

設置されて今年で5年目。全日制・総合学科の幸手桜高校は、入学時に文理系・商業系のいずれかを選択し、早い段階から進路を見定めた専門的な授業が展開されます。その一環として、生徒各々の希望に適った、多岐に渡る進路指導も行われています。

6月2日(金)には、3年次生を対象に「進路懇談会」が実施されました。これはこの春に卒業した先輩方を招いて、その進路決定に至るまでの経験を伺うというもの。企業や大学から来た卒業生たちの初々しいスーツ姿の中、埼玉県警から来た卒業生は制服での参加となり、なかなかのバラエティに富んだ顔ぶれが集まってくれました。

先述のとおり本校は総合学科の高校です。進路を見据えて自分に必要な学習内容を選択していきます。6割は就職し、4割は自分に必要な学歴や資格取得を考えて進学していく環境のため、皆が就職・進学するから…といった曖昧な理由で自分の将来を選択することがありません。その分あれこれと悩みも尽きない高校生活の中、多岐に渡る選択肢から自分が進む道を決めていった先輩方の経験談は何物にも代えがたい「道しるべ」となることでしょう。

8月には中学生対象学校説明会を開催します。ぜひ、ご来校ください(本紙21ページ参照)。



進路懇談会の様子



子供用品のリサイクル「とりかえっこ」

6月17日(土)ウェルス幸手検診ホールで、子育てサロンくるり♪主催の、とりかえっこが開催されました。子供服や子供用品、おもちゃ、絵本などのとりかえっこのほか、抽選会も行われました。

いつも大盛況のこの事業には、今回は250人の来場があり、会場は子供用品を楽しそうに選ぶたくさんの親子で賑わっていました。



初心者のための古文書学習講座

6月17日(土)郷土資料室で、初心者のための古文書学習講座が始まりました。参加したみなさんは、市が収集した古文書をテキストとして使い、江戸時代の古文書の学習を通して、地域の歴史を楽しみながら学びました。

講座は、毎月第3土曜日に開催しています。途中からの参加も可能ですので、興味のある人は、ぜひ、ご参加ください(広報さって6月号21ページ参照)。

燎原短歌会

朝日新聞歌壇見たり

孫の住む

由利本荘といふ

市名のしたし

小澤六子・中二

家並を抜け来て

青田が目になやか

屈みて覗けが

穂ばらむもあり

竹園末子・中二

一枚の

紙に召されて逝きまし

義父の遺影を

あふぐ五十年

西澤政江・中四

乙女ならぬ

太めの像と言ふガイド

十和田の旅は

なごやかなりし

新井佐和江・戸島

一日は過去となりゆく

終の日に

至る思いに

今日も暮れゆく

長下部圭作・東五

あるじ逝き

手入れとどかぬ

庭先に薄紫の

ライラック咲く

大内田登久子・千塚